

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 6 年 9 月 2 5 日
契 約 業 者 名	グンジ建設 (株)
契 約 業 者 の 住 所	茨城県潮来市新宮 1 9 3 7 - 1
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 道路土工 2. 擁壁工 3. 舗装工 4. パイプライン工 5. 構造物撤去工 6. 共通仮設費
工 期 (自)	令和 5 年 9 月 2 7 日
工 期 (至)	令和 6 年 1 2 月 2 3 日
変 更 前 の 契 約 金 額	2 8 6 , 3 8 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 3 1 , 9 1 1 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 1 8 , 2 9 6 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 道路土工 現地調査の結果、現況地盤高に差異があったため、路体盛土工、法面整形工及び法面工については数量精査 (減) し、掘削工は数量精査 (増) する。また、本工区の掘削土は表土混じりで路体材に適さないことから近隣ストックヤードからの土砂搬入が必要になったため、土砂等運搬を追加する。 2. 擁壁工 設計照査の結果、下り線側の重力式擁壁の施工は、横断歩道橋施工時に支障となるため、上り線側道部のみの施工とし数量精査 (減) する。 3. 舗装工 現地調査の結果、アスファルト舗装工については数量精査 (増) する。 4. パイプライン工 関係機関との協議結果より、付替ルートの見直し及び管径の変更が必要となったため、作業土工については数量精査 (減) し、パイプライン布設工は数量精査 (増) する。 5. 構造物撤去工 現地調査の結果、排水構造物工の施工に際し防塵ネットが支障となるため、防塵ネット撤去工を追加する。また作業土工及び構造物取壊し工は数量精査 (増) する。 6. 共通仮設費 BIM/CIM 適用に基づき、BIM/CIM モデル作成費を追加する。

(第3回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 1 月 2 9 日
契 約 業 者 名	グンジ建設 (株)
契 約 業 者 の 住 所	茨城県潮来市新宮 1 9 3 7 - 1
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 道路土工 2. 排水構造物工 3. 舗装工 4. 下水道工 5. 仮設工 6. 共通仮設費
工 期 (自)	令和 5 年 9 月 2 7 日
工 期 (至)	令和 7 年 2 月 2 8 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 1 8, 2 9 6, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 1 1, 4 6 2, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 2 9, 7 5 8, 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 道路土工 関係機関との協議により、本工区で発生した表土混じりの土砂の受け入れが可能となったことから残土処理工を増工する。 2. 排水構造物工 現地調査の結果、作業土工、側溝工及び集水桝・マンホール工は数量精査 (減) する。 3. 舗装工 現地調査の結果、下水道管撤去後のアスファルト舗装工の復旧は不要となったことからアスファルト舗装工 (3) は減工する。 4. 下水道工 現地調査の結果、既設函渠内のアンカーの配置状況により、支持金具の割り付けの変更が生じたことから下水管布設工を数量精査 (増) する。 5. 仮設工 関係機関との協議の結果、交通管理工を数量精査 (増) する。 6. 共通仮設費 施工合理化調査の対象工事となったことから施工調査費を追加する。また営繕費に快適トイレを追加する。

(第4回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 2 月 2 7 日
契 約 業 者 名	グンジ建設 (株)
契 約 業 者 の 住 所	茨城県潮来市新宮 1 9 3 7 - 1
工 事 の 名 称	R 5 東関道小泉南地区改良他工事
工 事 場 所	茨城県潮来市小泉南地先
工 事 種 別	一般土木工事
工 事 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 排水構造物工 2. 仮設工 3. 共通仮設費
工 期 (自)	令和 5 年 9 月 2 7 日
工 期 (至)	令和 7 年 2 月 2 8 日
変 更 前 の 契 約 金 額	3 2 9 , 7 5 8 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 6 , 6 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	3 3 6 , 3 5 8 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 排水構造物工 関係機関との協議の結果、支線排水路の改修が必要になったことから、作業土工を数量精査 (増) し、側溝工を増工する。 2. 仮設工 現地調査の結果、支線排水路の改修に伴い、表土掘削や地耐力確保のための敷鉄板の設置が必要となったことから作業ヤード整備工を追加する。 3. 共通仮設費 作業ヤード整備工の追加に伴い、仮設材運搬費が必要となったことから運搬費を増工する。